Hekikai Report

地域金融機関として
伝えるビジネスの
“今”と“これから”

〈企画・編集〉
碧海信用金庫
経営企画部 企画グループ
https://www.hekishin.jp/

企業訪問　地域の躍動企業
株式会社サカキバラコーポレーション
代表取締役　榊原 守 氏

特集　知多木綿とレトロな街並み～知多市岡田地区～

お役立ちコラム　知っておきたい税情報
消費税のインボイス制度②

Pickup!チャレンジ企業
株式会社テスコ

SDGsレポート vol.11　(2022年7月～9月)

地域の景気動向　2022年9月調査

碧海信用金庫

企業訪問

地域の躍動企業

SPECIAL INTERVIEW

今村支店お取引先

株式会社サカキバラコーポレーション

代表取締役　榊原　守　氏

素材の配合設計技術、そして異素材との接着技術を武器に、60年余の永きにわたってゴム製品製造に携わってきた株式会社サカキバラコーポレーション。高い技術力で確立した一貫生産体制で、業界のニーズに即応し大きな信頼を集めています。「確かな品質」で「お客様のために」という想い、そして自社製品開発にかける熱意など、ゴムの更なる魅力発信に努める榊原代表取締役にお話を伺いました。

高い技術力と一貫生産体制で ニーズに即応

—創業からの歩み、また主な事業内容について教えてください。

昭和36年に「合資会社榊原ゴム工業所」として創業、祖父が出資をし、父とその兄弟でスタートしました。モータリゼーションが大きく発展した時代であり、自動車のゴム部品を手掛ける企業が少なかったこともあって徐々に業務が増えていきました。そして、ゴム素材の配合設計から製造・接着・製品成型・仕上げ・検査・出荷まですべての工程を自社で行う「一貫生産体制」を確立、お客様のニーズに素早くコストパフォーマンス良く対応することが可能となりました。また、一般成型品に加えてゴムと金属など異種素材との接着部品製造にも注力し、売上ベースでは一般成型品と接着部品との比率が3:7となっており、これも他社との大きな違いだと思います。

—創業から数年のうちに、一貫生産体制を確立していらっしゃるのですね。

一貫生産体制を確立できたのは、配合設計技術者を採用できたからなんです。ゴム素材は何百種類もあり、耐熱性・耐油性など性能はさまざま。同じ製品スペックを見ても、配合設計技術者が5人いれば5通りのレシピができるなど、仕様・性能・コストなどを加味して配合を決めるのは技術者の腕の見せどころ。お客様のニーズに合わせた多彩なバリエーションのゴムを開発することができることは、創業当時より弊社の大きな強みとなっています。

初代の配合設計技術者は引退していますが、技を受け継いだ2代目・3代目の配合設計技術者が頑張ってくれています。平成23年には、ゴム生地を作る精練工場を新設。創業当時のままであった工場を整備して、品質を十分確保でき、お客様に見学もしていただけるような工場となりました。

何百種類とあるゴム素材から、ニーズに合わせて選定・配合。秘伝の配合技術とノウハウが、最適なゴム材料開発の要

ゴムとさまざまな金属・樹脂との接着技術にも定評のある同社。多彩な接着部品は、多くの分野で用いられている

さまざまな分野で ゴムを活かしたい 品質基盤の向上にも注力

—異種素材の接着技術にもこだわりをお持ちですね。これも一貫生産体制を支える高い技術のひとつかと思います。

ゴムと鉄・アルミ・樹脂などの異種素材との接着部品は、幅広い分野の製品に使用されています。特に金属との接着が難しいとされていますが、弊社では金属の洗浄・ブラスト処理、接着剤塗布などの設備を揃え、接着に特化した体制を整えています。配合設計技術に加えこの接着技術があることで、お客様の要望に柔軟にお応えすることができ、ノウハウを活かして多彩な

今あるものから、新たな価値を。必要なのは可能性を広げる「イノベーション」

SPECIAL INTERVIEW 株式会社サカキバラコーポレーション 代表取締役 榊原 守 氏

用途に適した高品質なゴム製品を提供することができています。

「ゴムの能力をさまざまな分野で活かしたい」というのは、創業時からの思い。一貫生産体制を持つことで機械設備の導入やメンテナンスなども必要になってきますが、ニーズに即応でき、トータルでお任せいただける安心感があるというメリットの方が大きいと感じています。祖父や父の時代から、確かな品質と「ここに任せておけば大丈夫」という信頼感を得て業務を拡大してきたのだと思います。

―技術にも生産体制にも、「確かな品質」で「お客様のために」という想いが表れていると感じました。

ものづくりにおいて大切なのは、やはり品質です。近年では、「タートル図」を用いた品質向上活動に取り組んでいます。プロセス（工程）を可視化し、プロセスに何をインプットし何をアウトプットするのかを調査・分析して、品質基盤の向上を目指す品質管理方法です。良いアウトプット、つまり良い製品のためには良いインプットが重要ということで、人的資源、設備などの物的資源、材料や図面、そして作業標準書や評価基準の管理をしていきます。また、QCサークル活動にもいっそう力を入れて取り組んでいますが、改善意識やリーダーシップの高まりなどが感じられ、取り組み甲斐があるなと実感しているところです。

品質向上のための活動は、人材育成にもなります。課題を追求し、どう対応するのか、何が必要なのか、社員皆が意識し考えることが重要です。大切なのは「目線」。お客様の目線、我々経営者の目線、そして社員の目線、目線の差は業務に対する意識・考え方の違いです。品質向上のための活動を行うことが、この差を埋めていくことに繋がると考えています。

イノベーションで新展開へ 自社製品「TASDOU GRIP」

―ものづくり業界を取り巻く環境が大きく変化するなかで、初めての自社製品「TASDOU GRIP」（タスドウ・グリップ）を開発されました。開発に至った経緯を教えていただけますか。

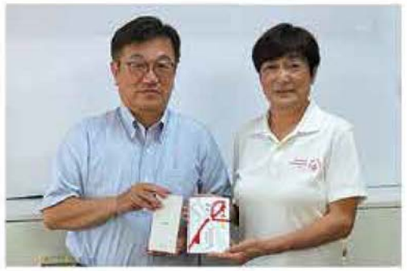
「TASDOU GRIP」は、握って腕を動かすことで上半身のストレッチができる健康グッズ。ゴムとステンレスを組み合わせたグリップで、「TASDOU」には「暮らしに動きを足す」という意味が込められています。令和4年4月よりクラウドファンディングサイト「Makuake」で公開、9月中旬現在、サポーターへの第3弾の発送準備をしているところです。

数年前から自社製品開発への取り組みを始め、へきしんさんの産学官金連携セミナーや安城市のパテントセミナーに参加するなど勉強をしていたわけですが、困っていたのが製品の「デザイン」でした。我々の本業は見た目の格好良さではなく品質・機能性重視ですが、新しく製品を開発するならスタイリッシュなモノを、という思いも頭にありました。そんなときにへきしんさんから教わったのが、「AICHI DESIGN VISION」。ものづくり企業とデザイナーとのマッチングで新商品を開発する共同商品開発プロジェクトで、これは渡りに船だと思いました。さっそくプロジェクトに参加し、デザイナーに弊社の歴史や技術を知っていただき、いろいろな案を出していただいたなかで一番目をひいたのがこの「健康グッズ」だったんです。社員にも案を見てもらいましたが、スタイリッシュなデザインだということだけでなく、弊社が「健康経営優良法人2022」の認定を受けるなど健康経営に取り組んでいることも、受け入れてもらえた一因なのではと思います。「TASDOU GRIP」は、弊社の配合設計技術と接着技術、そして新たに見た目の美しさと、持てる力の全てが結集した製品だと思っています。来年以降には「TASDOU GRIP」ブランドの第2弾に取り組みたいと考えています。

―次のブランド展開もとても楽しみです。今後はどのようなビジョンをお持ちでしょうか。

私は「イノベーション」という言葉をよく用います。「技術革新」「新機軸」などと訳されますが、「すでに世の中にあるものの組み合わせ」によって新しい価値が生み出されることであり、この発想が企業に必要だと考えています。本業とはまったく異なる分野で新事業展開に取り組まれる方も多くいらっしゃいますが、私は、今まで手掛けてきたものが新しいカタチとなって世の中に出ていくイノベーションに、非常に大きな意義があると考えています。「TASDOU GRIP」が生まれたのも、このイノベーションですね。どのようなイノベーションを起こせるのか、そのためには日頃から多方面にアンテナを張っていなければなりませんが、刺激があり面白さも感じています。そしてイノベーションから新たなモノが生まれ、ゴムの可能性がさらに広がっていくことを期待しています。

◀▲初の自社製品、ストレッチツール「TASDOU GRIP」と、開発中の様子。得意とするゴムと金属の一体成型で、コロナ禍でも健康に貢献できるグッズを目指した



▲サポーターの支援に感謝し、TASDOU GRIPと応援購入額の一部をスペシャルオリンピックス日本・愛知に寄付

■企業プロフィール

株式会社サカキバラコーポレーション

■本社／〒446-0005
愛知県安城市
宇頭茶屋町宮前27
■TEL／0566-97-8306
■FAX／0566-97-9431
■代表者／榊原 守
■設立／昭和36年
■資本金／1,800万円
■事業内容／工業用ゴム部品製造
及び、ゴム生地の素材配合の設計開発
■URL／http://www.baragum.co.jp

昭和36年	合資会社榊原ゴム工業所設立
昭和40年	ゴム生地製造からゴム製品製造までの一貫生産体制を確立
昭和45年	接着規付け部品の生産開始
昭和56年	事務所を新築
昭和60年	西工場を新設
平成6年	(株)サカキバラコーポレーションへ組織及び社名変更
平成15年	ISO9001:2000を取得
平成16年	ISO14001:1996を取得
平成18年	ISO14001:2004を取得
平成23年	新精練工場を建設
令和4年	「健康経営優良法人2022」（中小規模法人部門）に認定 自社製品の新感覚ストレッチツール「TASDOU GRIP」を開発販売

昭和36年の創業以来、60年以上にわたってゴム製品製造に携わる。材料の選定から配合設計、開発、製造、検査、出荷までをトータルで請け負う一貫生産体制を確立し、多品種少量ニーズにも即応が可能。またゴムと金属等の異種接着部品にも特化しており、その高い技術力を活かして自動車部品、建築・設備、機械、電機など、多岐にわたる分野で品質・コストパフォーマンスに優れた製品を提供している。

左から今村支店岩橋支店長、榊原代表取締役、今村支店鈴木係長

知多木綿とレトロな街並み

～知多市 岡田地区～

江戸時代から「知多木綿」の名産地として繁栄した知多市岡田地区。現在でも、江戸から明治期の土蔵や黒板塀など往時の街並みが残り、古民家を改修した新しい施設もオープンしています。ノスタルジックな気分で、街並み散歩を楽しんでみませんか。

発信型複合施設「SoN」オープン

岡田の古民家でクラフトビールを醸造する「OKD KOMINKA BREWING」が、村の中心に建つ築86年の古民家をリノベーションし、昔ながらと今が共存する発信型複合施設「SoN」を2022年6月にオープン。施設の中にはレストランやベーカリー、コーヒースタンドのほか、自由に休憩できるリビングガーデンや小さな蔵ギャラリーがゲストをお出迎えし、街のにぎわいを創出しています。「SoN」のオープンにあたっては、当金庫と愛知県信用保証協会が連携して創業支援を行いました。

SoN DINING

OKD KOMINKA BREWINGのクラフトビールを中心に16タップを備え、料理や自家製木麺（新しい蕎麦）が味わえるカジュアルダイニング。

SoN LUNCH

ランチタイムのプレートでは、使用する地元食材の新たな美味しさを発見できるデリを中心に提供。セットドリンクでクラフトビール（テイスティングサイズ）が選択できます。

かもぱん

高加水でふわふわモチモチな食感が楽しめるパンをはじめ、長時間発酵で甘味や旨味を引き出したハード系パンがオープン当初から大人気の小さなベーカリー。

SoN COFFEE

こだわりの一杯が楽しめるコーヒースタンド。涼しい季節は古民家らしい縁側でゆったりとした時間を過ごせます。

「SoN」オープンへのストーリー

■「OKD KOMINKA BREWING」について

築100年以上の古民家で醸造したビールを通じて、「岡田」の活性化と「岡田」を世界へ発信したいとの思いから2019年春に立ち上げたマイクロブルワリー。地元の食材をメインに使ったクラフトビールにこだわっています。「岡田」の名を広めるために、異業種とのコラボレーションやイベントの企画にも積極的に取り組んでいます。

■江戸時代からの歴史ある村「岡田」再興への挑戦

かつては織物業で繁栄した岡田地区（旧知多郡岡田村）も、戦後の木綿産業の衰退とともに規模は縮小、今では使われなくなった蔵や民家が多く取り残されています。

2021 年春、地元愛に溢れた「OKD KOMINKA BREWING」（株式会社PLUS OKD）の新美代表がリーダーとなり、築86 年の古民家を立派な梁や柱、歴史を感じる建具を大切に生かしつつモダンなデザインにリノベーションし、今と昔の融合が楽しめる複合施設へ変身させるプロジェクトが動き出しました。プロジェクトには、各地から個性豊かなクリエイターが集まり、地元の職人さんもメンバーに加わりました。今春にはクラウドファンディングを実施、「岡田」を再び盛り上げようというプロジェクトの思いを伝える場、ファン作りの場として活用しました。クラウドファンディングの返礼品に、新美代表が修行をした鳥取のブルワリー「大山Gビール」とコラボした特別なビールを醸造しました。

■SoN の未来

「岡田」に地元以外の人たちが訪れることで、地域住民の中では当たりまえであった村の良さに気付き、村への意識が変わることが「岡田」の存在価値に繋がると考えています。発信をし続けることで「岡田」の魅力を少しずつ高め、全国のみならず、海外からも訪れていただける場所を目標にしています。

「OKD KOMINKA BREWING」ホームページはこちら

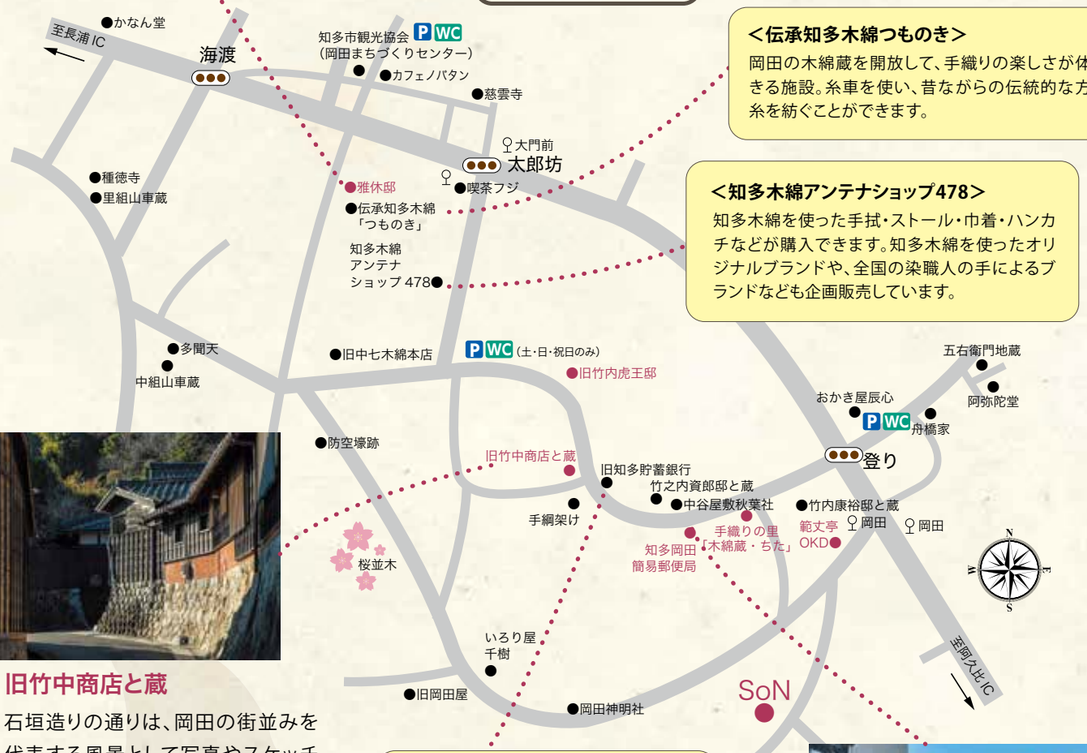
岡田の古い街並み 散策スポット

雅休邸（旧岡田病院）

昭和4年に建てられ、竹内雅休が医院として開業。平成27年に国の登録有形文化財に登録されています。

旧竹内虎王邸

岡田が知多木綿の一大産地、集積地となる基盤を築いた先駆者の一人、竹内虎王の旧邸宅です。



＜伝承知多木綿つものき＞
岡田の木綿蔵を開放して、手織りの楽しさが体験できる施設。糸車を使い、昔ながらの伝統的な方法で糸を紡ぐことができます。

＜知多木綿アンテナショップ478＞
知多木綿を使った手拭・ストール・巾着・ハンカチなどが購入できます。知多木綿を使ったオリジナルブランドや、全国の染職人の手によるブランドなども企画販売しています。

旧竹中商店と蔵

石垣造りの通りは、岡田の街並みを代表する風景として写真やスケッチの対象となる人気スポットです。

＜旧知多貯蓄銀行＞
テレビドラマのロケ地として使われたり、現在は地域のサロンとして活用。

知多岡田簡易郵便局

明治35年に岡田郵便電信局として建築され、現在も営業している郵便局の中では最古級の局舎で、平成25年に国の登録有形文化財に登録されています。

岡田地区へのアクセス

電車	名鉄常滑線「朝倉駅」下車、 知多バス（岡田線）「岡田」下車　徒歩約2分
車	知多半島道路　阿久比インターより約10分、 西知多産業道路　長浦インターより約10分

SoNへのアクセス

駐車場はSoN前にはないため、HPもしくはInstagramをチェックしてください。

SoNホームページ

※掲載内容につきましては変更となっている場合があります。最新情報は、各施設のホームページ等でご確認いただくか、各施設にお問い合わせください。
※本記事の編集、および図・写真の提供等につきましては、一般社団法人知多市観光協会と株式会社PLUS OKD様（知多支店お取引先）にご協力いただきました。

手織り体験やショッピングで、知多木綿の魅力を再発見

知多木綿の歴史は江戸初期の慶長年間に始まり、「生白（きじろ）木綿」として生産され、伊勢に送られて「伊勢晒（さらし）」「松阪晒（さらし）」として江戸へ送られていました。現在は「あいちの伝統工芸品及び郷土伝統工芸品」に指定されています。岡田地区では、伝統的な手織り体験や知多木綿のショッピングを楽しむことができます。

手織りの里 木綿蔵・ちた

国の登録有形文化財に登録されている木綿蔵で、知多木綿の機織り体験ができ、コースターや敷物などを作ることができます。

知多木綿と有松絞り

有松へ納入されていた木綿の多くが知多産だったという記録があり、知多で織った白生地は有松で絞り染めされ、浴衣や手ぬぐいなどになって売られていたそうです。

竹内（たけうち）　虎王（とらおう） 1855年〜1931年

木綿製造業を手がけながら、品質の良い布がたくさん織れる織機の研究に打ち込み、明治31年に「竹内式動力織機」の特許を取りました。明治34年には竹内木綿工場を創業し、知多の岡田が知多木綿の一大産地となる土台を築きました。「木綿蔵・ちた」は、明治時代後期または大正時代初期に竹内虎王商店の倉庫として建設されました。

地元の食を楽しむ

範丈亭/OKD KOMINKA BREWING

2019年に誕生したマイクロブルワリー。併設の範丈亭では、お米や海苔、味噌にこだわった和食を提供しており、出来立てのクラフトビールと合わせて堪能できます。

抽せんで、
合計10名様にプレゼント！

「Hekikai Report vol.56」読者アンケート

皆さまの声を今後の編集に生かすため、本号の記事についてアンケートへのご協力をお願いいたします。
ご回答いただいた方の中から抽せんで、合計10名様にプレゼントを差し上げます。

ご回答期限　2023年1月31日（火）まで

A賞（5名様）
OKDオリジナルビールグラス（1個）

B賞（5名様）
知多木綿ブックカバー（1個）

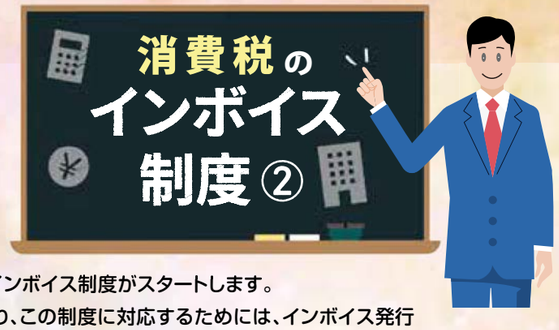
※ご入力いただいた個人情報は、プレゼントの送付のみに利用させていただきます。
※プレゼントは厳正なる抽せんの上、2023年2月に当せん者へ発送いたします。
（当せん発表は、プレゼントの発送をもって代えさせていただきます。）
※B賞につきましては、色柄をお選びいただけませんので予めご了承願います。

アンケートはこちら

https://www.hekishin.jp/seminar/?secp=k4un

お役立ちコラム

知っておきたい税情報



令和5年10月1日から消費税の新しい仕入税額控除の方式としてインボイス制度がスタートします。

インボイス制度は、すべての事業者に大きな影響を及ぼす制度であり、この制度に対応するためには、インボイス発行事業者としての登録のほか、様々な準備が必要になります。

今回は、インボイス制度のポイント、インボイス発行事業者となるための登録手続及びインボイス制度に向けた事前準備について解説します。

山本康裕税理士事務所　税理士　山本康裕

インボイス制度のポイント

インボイス制度とは、正式には「適格請求書保存方式」のことをいい、複数税率に対応した消費税の仕入税額控除の方式のことをいいます。インボイス制度の下では、税務署長の登録を受けたインボイス発行事業者が交付するインボイス（適格請求書）の保存等が仕入税額控除の要件となります。

現行制度では、仕入先が課税事業者であるか免税事業者※であるかにかかわらず、仕入先からの請求書等を保存していれば仕入税額控除を行うことができました。

しかし、インボイス制度においては、インボイス発行事業者から交付されたインボイスがなければ、原則として、仕入税額控除ができなくなります。

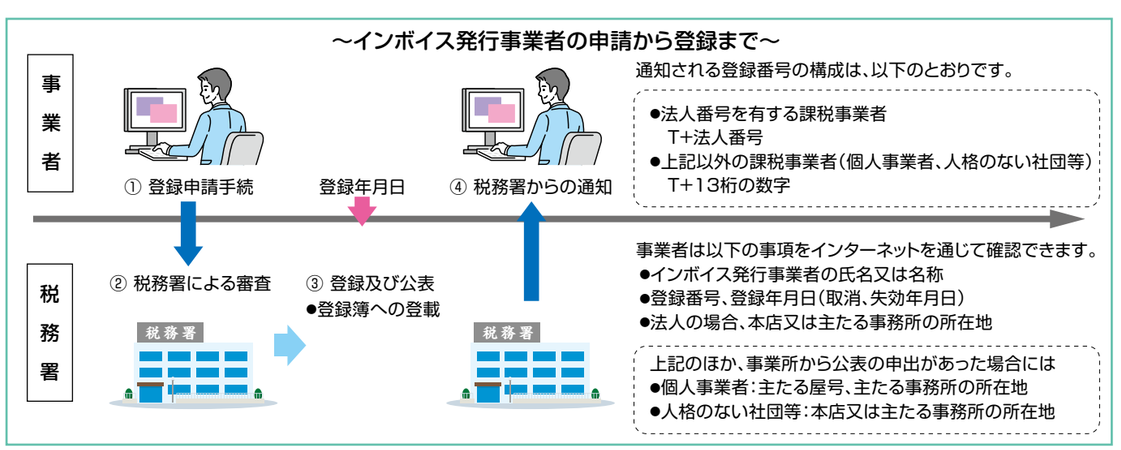
結果として、多くの事業者にとって、インボイス発行事業者の登録申請を行うことは事業を行っていくうえで避けて通れない問題といえます。

インボイスを発行できるのは、**インボイス発行事業者の登録を受けた課税事業者**に限られ、免税事業者や登録を受けていない課税事業者はインボイスを発行することができません。

※免税事業者とは、一定期間の課税売上高が1,000万円以下の事業者をいい、原則として消費税の申告・納付が免除されています。なお、免税事業者も課税事業者を選択することができます。

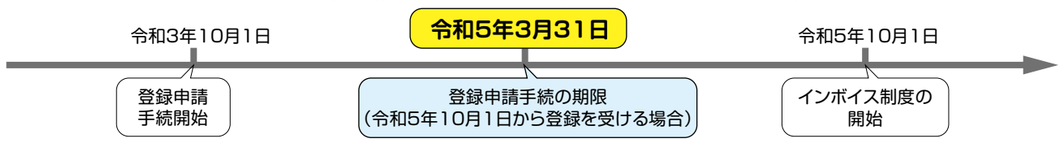
インボイス発行事業者としての登録手続

インボイス発行事業者となるためには、インボイス発行事業者の登録をする必要があり、令和5年10月1日からインボイス発行事業者になるためには、原則として令和5年3月31日までに登録申請しなければなりません。登録申請の流れは、以下のとおりとなっており、登録申請から数週間以内に、税務署から登録番号が通知されます。



～登録申請のスケジュール～

インボイス制度が開始される**令和5年10月1日から登録を受けるためには**、原則として、**令和5年3月31日まで**に登録申請手続きを行う必要があります。**登録申請後、審査に一定の時間を要しますので、早めの提出をお願いします。**



出典：国税庁リーフレット

インボイス制度に向けた事前準備

インボイス制度に対応するためには、インボイス発行事業者としての登録以外にも、次のような準備が必要になります。

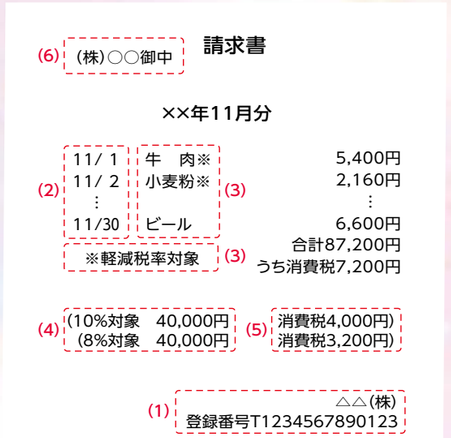
売手（インボイス発行事業者）としての準備

〇インボイス記載事項の確認と変更

インボイス（適格請求書）には、以下の事項を記載する必要があるため、現在発行している請求書や納品書の様式の変更が必要となります。

(1) 請求書発行事業者の氏名又は名称及び**登録番号**
(2) 取引年月日
(3) 取引内容（軽減税率の対象品目である旨）
(4) 税率毎に区分して合計した対価の額及び**適用税率**
(5) **消費税額**等
(6) 書類の交付を受ける事業者の氏名又は名称

（不特定多数の者に対して販売を行う小売業、飲食店業、タクシー業等に係る取引については、適格請求書に代えて、上記(6)の記載が不要な適格簡易請求書を交付することができます。）



〇インボイスの交付と保存義務

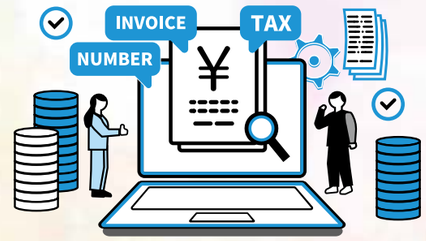
インボイス発行事業者には、取引先の求めに応じてインボイスを交付し、その写しを保存する義務があります。取引先に迷惑をかけないためにも、きちんと対応しておきましょう。

〇インボイス制度に向けたシステムの対応

これまでの請求書、納品書、レシート等の様式の変更が必要となるため、レジや請求書発行システムがインボイス制度に対応したものであるか確認しましょう。

〇主要な売上先に対する対応

インボイス制度に円滑に対応するため、主要な取引先に対して、
①インボイス発行事業者の登録番号
②交付するインボイスの様式
③インボイスの交付方法
を予め連絡し了解を得ておきましょう。



買手（仕入税額控除をする側）としての準備

〇主要な仕入先のインボイス発行事業者の登録の確認

インボイス制度においては、仕入先がインボイス発行事業者の登録をしていなければ、原則として、仕入税額控除を受けることができません。主要な仕入先に対しては「インボイス発行事業者の登録の有無」、「受領するインボイスの様式」、「インボイスの受領方法」について確認しておきましょう。

特に小規模な事業者からの仕入れがあるときは、相手方にインボイス発行事業者の登録の意向や登録状況を事前に確認しておきましょう。

〇 免税事業者との取引と経理システムの対応

インボイス制度が始まっても免税事業者との取引がなくなるわけではありません。

その場合、免税事業者から受領する請求書等は、インボイスではありませんので、仕入税額控除ができなくなるわけですが、インボイス制度の開始後6年間は、次のような仕入税額相当額の一定割合を控除できる経過措置があります。

令和5年10月1日から令和8年9月30日までの期間　　仕入税額相当額の80%の控除
令和8年10月1日から令和11年9月30日までの期間　　仕入税額相当額の50%の控除

したがって、経理システムにおいて、免税事業者からの仕入れに係る経過措置の取扱いについても対応できるよう準備する必要があります。

新しいことに挑戦する企業を紹介
Pickup! チャレンジ企業

株式会社テスコ
（豊明支店お取引先）

BtoBからBtoCへの挑戦。新設倉庫を活用した「おてがる倉庫」
（商標登録出願中）

会社概要

当社は、愛知県豊明市に本社を置き、愛知県近郊エリアを中心に、自動車部品をはじめとする工業製品から食料品まで、幅広い商品の輸送をしている。「運送業はサービス業」をモットーに、運送業務のほか、自社倉庫を活用した商品保管・管理、入出荷から加工まで、お客様のニーズに合わせたきめ細かいサービスを提供。

このたび、新規事業として個人向け貸倉庫業へ参入し事業の幅を広げていく計画だ。

代表取締役社長　方喰（かたばみ）　理将（まさゆき）　氏

本社倉庫。従業員のみなさんの元気な挨拶が飛び交う。

開発ストーリー

数年前から一般のお客様向けにもサービスを提供したいと考えていた。そんな中、コロナ禍で在宅時間が長くなり、自宅をより快適な空間にしたい、という需要が高まった。そこで、新設を計画していた自社倉庫を活用することで使用頻度の低いものをお預かりしたら喜ばれるのではないか、と考え本事業を立ち上げることを決めた。

新設倉庫の半分は法人向け貸倉庫、残りの半分で新サービスを展開する。

ひと箱、ひと月から“おてがる”に

トランクルームでは、まとまったスペースを借りる必要があるが、「おてがる倉庫」ではひと箱から預けることができる。また、オプションサービスとして倉庫まで運んだり、整理をする手間を代行することもでき、保管不要になった時には処分の手配までも対応する。タイヤや季節もの、思い出の品など捨てられず保管場所に困ったものを自宅の倉庫代わりに便利に気軽に使ってもらいたい、という思いから「おてがる倉庫」と名前をつけた。リーズナブルな料金設定を行い、ネットから簡単に申込もできるようにし、おてがるさの魅力を感じてもらいたい。

新設した豊明倉庫（豊明市栄町）。倉庫内にはオリジナルラックを設置し電子タグで預かり物を管理。年内サービス開始を目指している。

株式会社テスコ

事業内容：運輸業・倉庫業
従 業 員：35名
住 所：豊明市阿野町惣作25番地の1（本社）
TEL：0562-74-1941
URL：https://www.tesco-exp.co.jp/

ホームページはこちら

支店担当者より

「おうち時間」を快適に過ごしたいというニーズに応える新サービスです。常にお客様のニーズに向き合い、新サービスを提供していく姿勢にいつも見習うところばかりです。

vol.11
へきしんSDGsレポート
2022年7月～9月

碧海信用金庫は、地域金融機関としてSDGsの取り組みを通じて持続可能な地域社会の実現に貢献します。

環境省が実施する「令和4年度ESG地域金融促進事業」の支援先に採択

7月11日に、環境省が実施する「令和4年度ESG地域金融促進事業」の支援先金融機関として、当金庫が採択されました。同事業は、ESG（環境・社会・企業統治）を考慮した地域金融機関の活動を支援するもので、全国で8件が採択されました。

本事業を通じて、自動車関連をはじめとする中小事業者のカーボンニュートラルに向けた支援を強化してまいります。

カーボンニュートラル支援業務の取扱開始

鈴与商事株式会社とe-dash株式会社の2社と業務提携し、8月29日より「カーボンニュートラル支援業務」の取り扱いを開始しました。

当金庫は脱炭素社会の実現を目指し、お客さまが抱える「カーボンニュートラル対応」に関する課題解決に取り組んでまいります。

名古屋商工会議所との初の連携事業「発注企業を招いての個別商談会」を開催

9月14日と21日の2日間、名古屋商工会議所が単独の金融機関と連携する初の商談会を開催しました。名古屋市内に拠点を置くスーパーや商社、メーカー等さまざまな分野の発注企業10社を招き、当金庫のお取引先及び名商会員企業83社（商談数97件）が商談に参加しました。

知立市立竜北中学校でSDGsに関する出前講座を実施

学校教育の場でSDGsへの理解を深めていただくため、9月14日に当金庫の職員が知立市立竜北中学校で出前講座を実施しました。

当金庫は、今後も地域の子どもたちへのSDGsの普及啓発に協力してまいります。

SDGs寄贈型私募債「パートナーブリッジ」の寄贈品を贈呈

私募債を発行するお客さまから受け取る手数料の一部で寄贈品を購入し、お客さまが指定された教育機関や医療機関、公共的な活動を行う団体等に寄贈を行っています。

安城市立安城南中学校に教育用品を贈呈（7月21日）

令和4年度「省エネルギー設備投資に係る利子補給金」制度の指定金融機関に認定

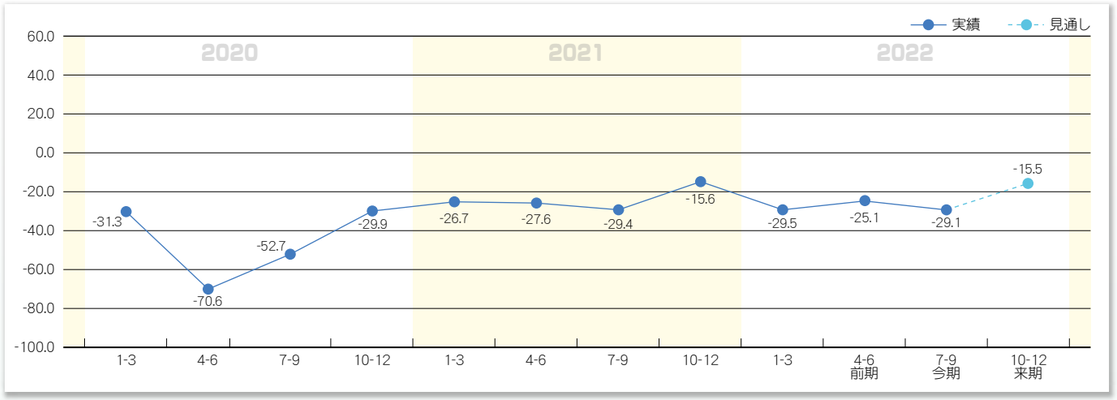
一般社団法人環境共創イニシアチブが行う利子補給金事業について、昨年度に引き続き当金庫が指定金融機関に認定されました。

本制度を活用することで、省エネルギー設備の新設・増設などの省エネ取組の融資利息の一部が補給されます。

当金庫は、本制度を通じてお客さまの省エネ推進、生産性向上に寄与してまいります。

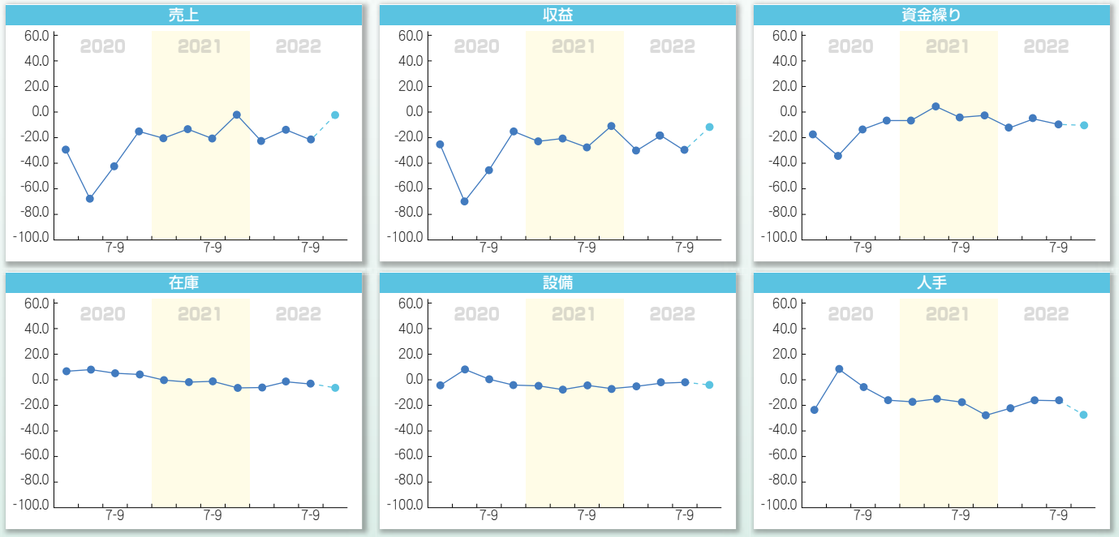
全業種　回答数330社

今期の業況D･Iは、前期比4.0ポイント低下の▲29.1。建設･不動産業を除くすべての業種で悪化。来期の予想業況D･Iは、13.6ポイント上昇の▲15.5と、改善の見通し。製造業中心に業況改善を見込む。一方で、すべての業種で人手不足への対応を課題に掲げている。



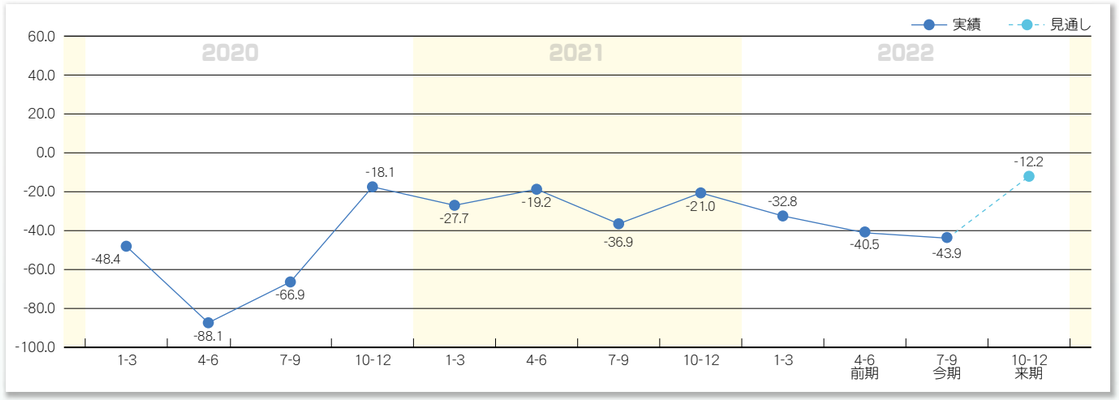
主要D・Iの推移

(注)在庫／設備／人手はプラスになるほど過剰、マイナスになるほど不足。



製造業　回答数123社

今期の業況D･Iは、前期比3.4ポイント低下の▲43.9と、三期連続で悪化。円安やウクライナ情勢等による原材料価格の高騰や、自動車の生産調整等が影響した。来期の予想業況D･Iは31.7ポイント上昇の▲12.2と大幅改善の見通し。原材料費の価格転嫁、生産調整の緩和等により業績回復を見込む。



主要D・Iの推移

(注)在庫／設備／人手はプラスになるほど過剰、マイナスになるほど不足。

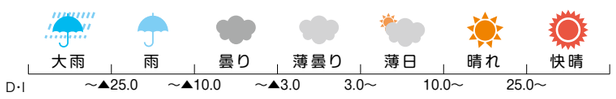
へきしん取引先景況調査とは

本調査は、地域および業種の景気実態および景気予測（景況）を把握するため、四半期ごとに当金庫の取引先企業様にアンケート調査を実施し、回答をいただいたものです。

調査概要

- 実施時期　2022年9月1日～7日
- 対象企業　330社
- 対象地域　西三河および尾張南部を中心とした当金庫の営業エリア

天気図の見方



D･I(ディフュージョン･インデックス)とは…業況（業界の景気）等を判断するための指数であり、〈良いまたはやや良いと答えた割合〉－〈悪いまたはやや悪いと答えた割合〉で求められます。

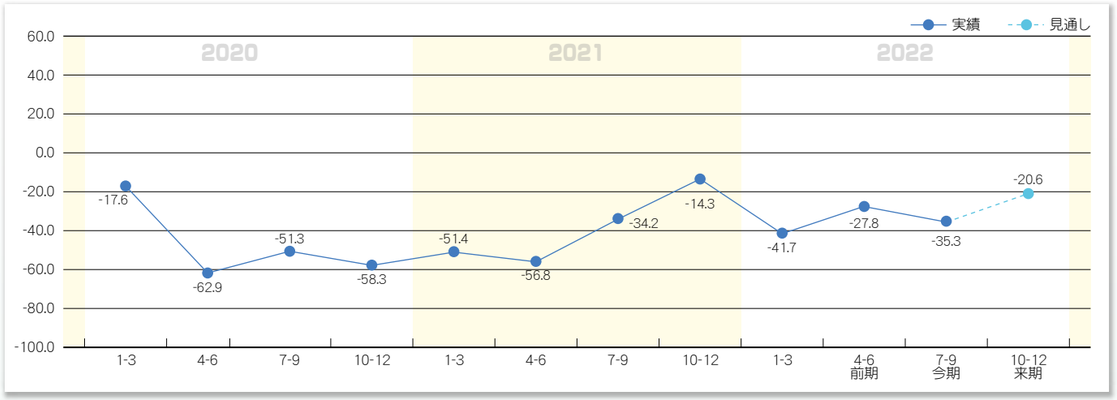
調査員のコメント

- ●9月以降のトヨタ自動車の増産計画には、現状の人員では対応が難しい。当面はシルバー人材等で人材を確保する。（自動車部品製造）
- ●コロナ再拡大により人の移動が減り、売上が低下。海外への販路拡大を模索中。（繊維製品製造）
- ●仕入価格は上昇しているが、今後は販売価格へ転嫁することで、収益確保を見込んでいる。（印刷）

卸売業　回答数34社

今期の業況D･Iは、前期比7.5ポイント低下の▲35.3となり、悪化。売上D･Iは増加する一方で、収益D･Iは減少しており、仕入価格の上昇が収益を圧迫している可能性がある。販売価格への転嫁や経費削減等、収益確保に向け取り組む企業もみられる。来期の予想業況D･Iは14.7ポイント上昇の▲20.6と、改善の見込み。

業況D･Iの推移



主要D・Iの推移

（注）在庫／設備／人手はプラスになるほど過剰、マイナスになるほど不足。

調査員のコメント

●資材の高騰等の外部影響は受けているが、販売価格の見直しで対応しており、売上･利益とも順調に推移。（土木資材卸売）

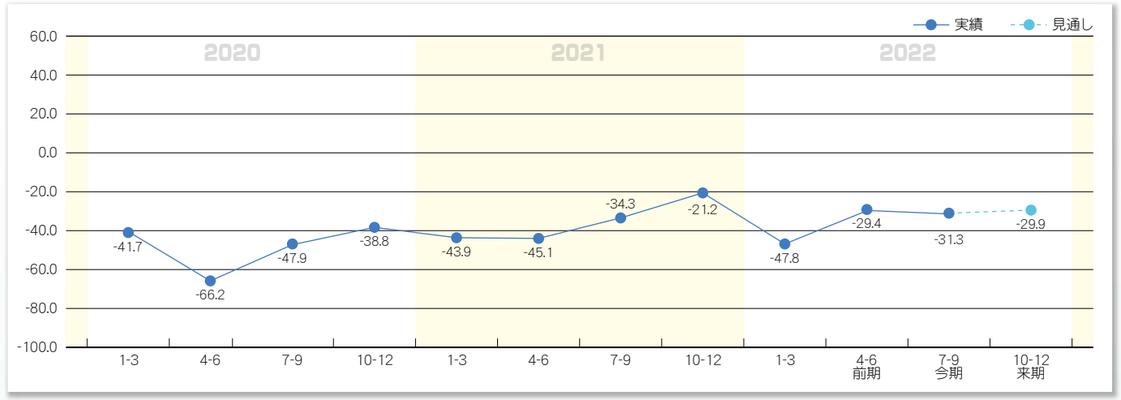
●電気代が2倍かかるようになり、コスト削減に努めている。（食品卸売）

●仕入価格が大幅に上昇しており、納品先への価格引き上げ交渉に苦慮している。（コンクリート卸売）

小売業　回答数67社

今期の業況D･Iは、前期比1.9ポイント低下の▲31.3と、わずかに悪化。コロナ禍の長期化や仕入価格の上昇等が、売上、収益に大きく影響。来期は、売上･収益回復を見込むが、予想業況D･Iは1.4ポイント上昇の▲29.9と、ほぼ横ばいの見通し。先行きに対し依然厳しい見方の企業が多いことがうかがえる。

業況D･Iの推移



主要D・Iの推移

（注）在庫／設備／人手はプラスになるほど過剰、マイナスになるほど不足。

調査員のコメント

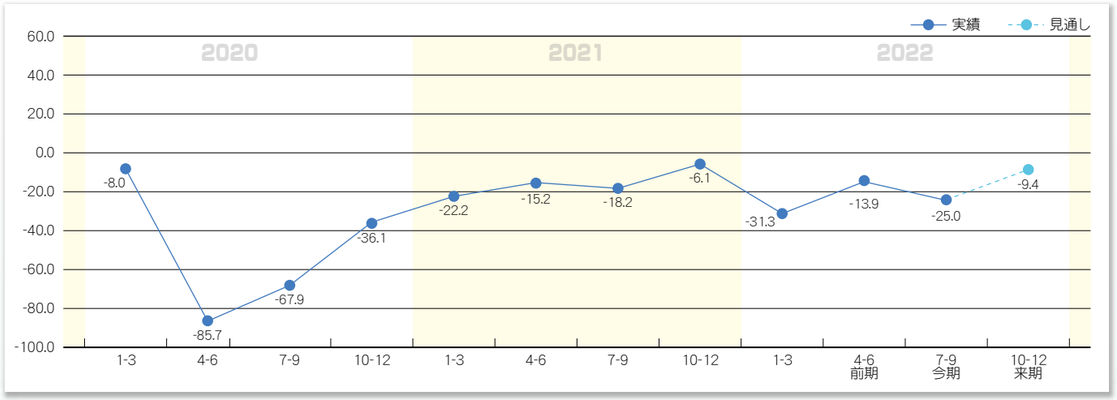
●コロナ禍の長期化で来店客が増えず、未だかなり厳しい状況。（飲食店）

●仕入価格の上昇に伴い、利幅が減少している。販売価格の改定交渉は苦戦中ではあるが、年内には価格転嫁を完了する見込み。（食品販売）

●7～9月は従業員の多くがコロナウイルスに感染した影響もあり、業況が少し悪化。商品の仕入が困難な状況が続いている。（自動車販売）

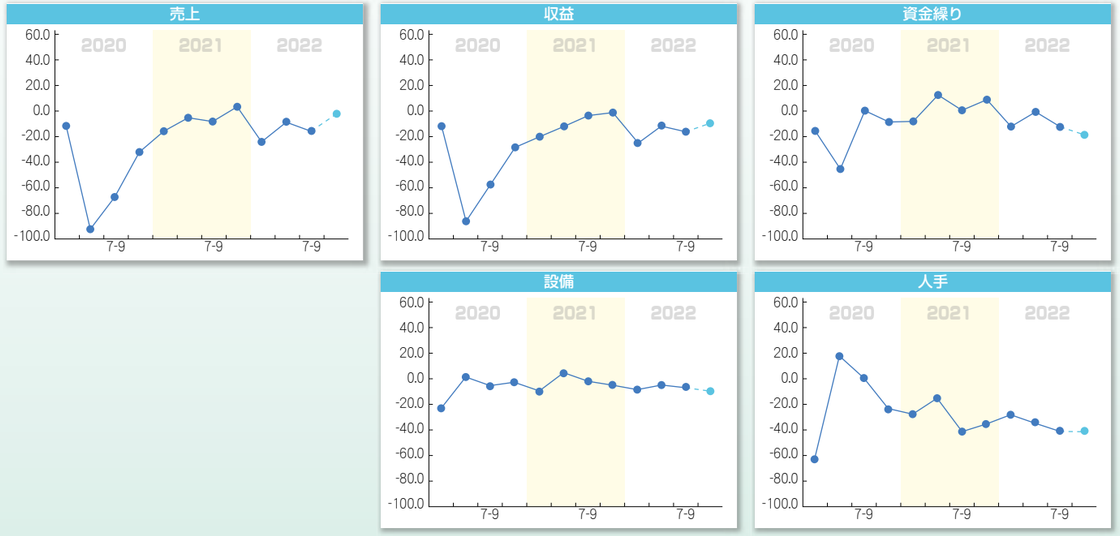
サービス業　回答数32社

今期の業況D･Iは、前期比11.1ポイント低下の▲25.0となり、悪化。コロナ再拡大や、原材料･仕入価格高騰の影響を受け、業況は依然厳しい。来期は、業績回復が見込まれ、予想業況D･Iは15.6ポイント上昇の▲9.4と、改善の見通し。



主要D・Iの推移

(注)設備／人手はプラスになるほど過剰、マイナスになるほど不足。

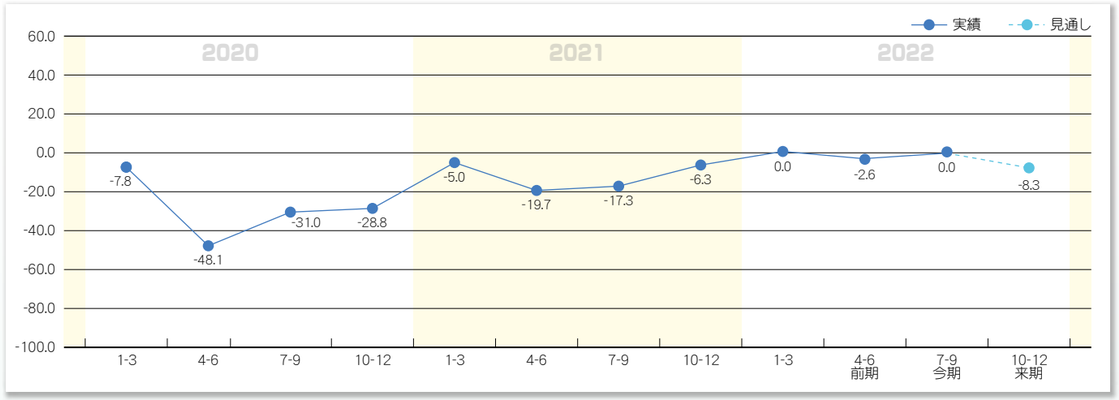


調査員のコメント

- ●売上は上昇傾向であるが、原油価格高騰の影響で利益は減少している。補助金を活用した機械の導入で利益率上昇を図っていく。(クリーニング店)
- ●先期は回復傾向にあった売上が、コロナ第7波の影響で減少している。(旅客運送)
- ●売上は安定しているものの9月から一部値上げを予定しており、今後に不安がある。(エステティックサロン)

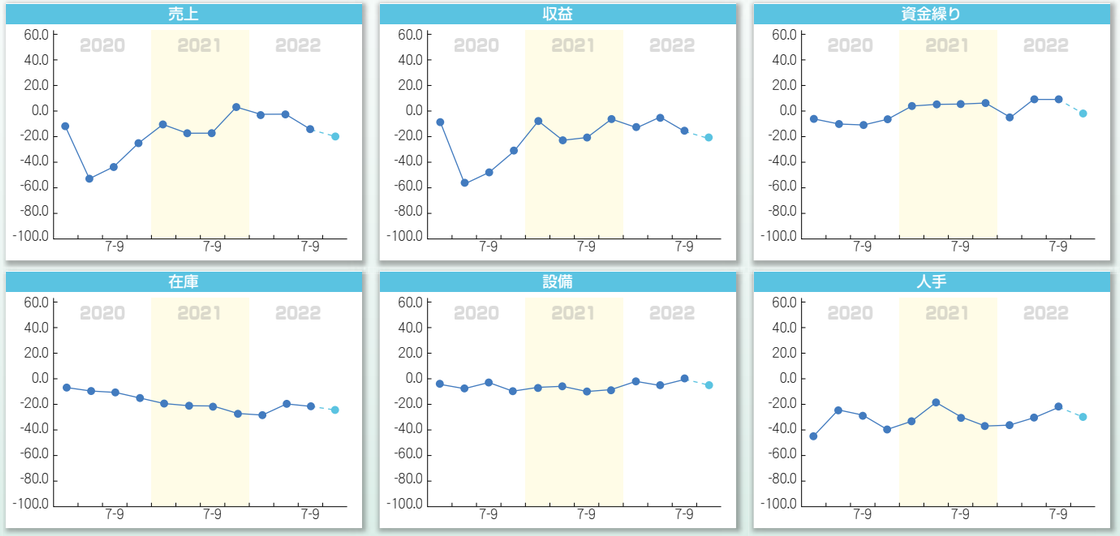
建設・不動産業　回答数72社

今期の業況D･Iは、前期比2.6ポイント上昇の0.0と、わずかに改善。材料価格高騰の影響等により、売上D･I、収益D･Iともに悪化。先行き不透明感から来期の予想業況D･Iは8.3ポイント減少の▲8.3と、悪化の見通し。



主要D・Iの推移

(注)在庫／設備／人手はプラスになるほど過剰、マイナスになるほど不足。



調査員のコメント

- ●受注は回復傾向にあるも、仕入価格等の高騰により、利益は減少。先行きは不透明。(建設工事)
- ●民間工事、公共工事ともに順調に推移。人手不足のため、採用活動に力を入れている。(土木)
- ●木材価格および燃料コスト上昇に対応するため販売価格の改定をしているが、単に値上げするだけでなく、商品に付加価値をつける等の工夫をしている。(建設業)

碧海の“今”と“これから”③

刈谷ハイウェイオアシス

伊勢湾岸自動車道の刈谷パーキングエリアと刈谷市の岩ケ池公園が隣接する「刈谷ハイウェイオアシス」は、2004年（平成16年）12月にオープンしました。年間入場者数が名だたる遊園地・テーマパークを押さえて国内3位に輝いたこともあり、2017年には累計来場者数が1億人を突破するなど高い人気を誇っています。

施設内には、人気店舗が軒を連ねる充実のフードコートや産直市場、観覧車や天然温泉もあり、今年4月にリニューアルオープンした豪華なトイレは多数のメディアに取り上げられて話題となりました。また、岩ケ池公園ではメリーゴーラウンドやゴーカートなどの遊具を手頃な料金で楽しむことができます。

近隣の方のみならず、遠方からも“目的地”として訪れる「刈谷ハイウェイオアシス」は、ショッピングやグルメ、レジャーまで楽しめるエリアとなっています。

碧海信用金庫
愛知県安城市御幸本町15番1号
（vol.56　2022年11月発行）